

第2期 蒲郡市子ども・子育て支援事業計画 令和2年度進捗状況の点検・評価書

蒲郡市では、前計画の基本理念「みんなで育てよう 子どもの笑顔 かがやくまち 蒲郡」を継承するとともに、「子どもファースト」に基づいた子育てしやすい最適な環境整備に努め、すべての子どもたちが幸せを実感し、健やかに成長することができるよう、行政と市民の皆様が一緒になった「ワンチーム」での子育て支援施策の推進を目指しています。その手段として第2期蒲郡市子ども・子育て支援事業計画に基づき、保育及び幼児期の教育と子ども・子育て支援の充実を順次図り、計画に示した各種子育て支援施策（事業）を推進しています。

本計画に定めた各種事業の点検・評価を通じ、質の高い保育・幼児期教育やニーズに応じた子育て支援事業の実現に向けた現在の取り組み内容及びその進捗状況を確認することで、新たな課題の抽出や効果的な事業展開に役立てるとともに、今後の施策及び事業の見直し・改善に役立てていきます。

なお、点検・評価に当たっては「蒲郡市子ども・子育て会議」がその中心を担い、市民の皆さまに公表していきます。

令和3年10月
蒲郡市子ども・子育て会議

第2期蒲郡市子ども・子育て支援事業計画

進捗状況の点検・評価を行う14事業・項目

平日日中の教育・保育の提供

1号認定（3歳以上保育の必要なし）	子育て支援課	1
2号認定（3歳以上保育の必要あり）	子育て支援課	2
3号認定（3歳未満保育の必要あり）	子育て支援課	3

地域子ども・子育て支援事業

時間外保育事業（延長保育事業）	子育て支援課	4
放課後児童健全育成事業（児童クラブ）	（教）庶務課	5
子育て短期支援事業（ショートステイ）	子育て支援課	6
地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター事業）	子育て支援課	7
一時預かり事業	子育て支援課	8
病児保育事業	子育て支援課	9
子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）の就学児童対象部分	子育て支援課	10
利用者支援事業（子育てコンシェルジュ）	子育て支援課	11
乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）	健康推進課	12
養育支援訪問事業	健康推進課	13
妊婦健康診査	健康推進課	14

令和2年度事業のまとめ（寸評）

事業・項目名		事業担当課による自己評価	子ども・子育て会議が考える今後の課題
1	1号認定 （3歳以上保育の必要なし）	幼稚園との情報共有や事務手続き等の連携を密に行いました。	1号から3号認定全体の認定人数としては横ばいですが、認定こども園での保育認定が増えてきて、1号認定としては全体的に園児が若干減少しています。引き続き、幼稚園との情報の共有化を図る必要があります。
2	2号認定 （3歳以上保育の必要あり）	園によって申請に差があり、特にみどり保育園では、令和2年4月からの入所申込の際に定員を超える申請があり、令和元年度に引き続き市による利用調整を行いました。	引き続き、保育ニーズを適切に把握するとともに、関係機関と連携しながら児童やその家庭にとって最善の支援を提供できるよう検討の必要があります。
3	3号認定 （3歳未満保育の必要あり）	保育の質にも十分配慮しながら、待機児童が生じないよう低年齢児の受け皿の確保や保育士の確保に努めました。	今後、低年齢児保育ニーズは、さらなる増加が見込まれることから受け皿確保が引き続き課題です。併せて、保育が必要な方に保育が提供できるように保育士の確保に努め、民間活用の検討も行い、保育の質の充実にも配慮する必要があります。
4	時間外保育事業 （延長保育事業）	延長保育時間に従事する保育士の確保と子どもがゆったりと過ごせる環境作りができるよう努めました。	引き続き、保育の質的な部分で、保育士の確保と子どもがゆったりと過ごせる環境作りが必要です。
5	放課後児童健全育成事業 （児童クラブ）	受入体制については、学校等と協議を重ねながら拡充ができていますが、引き続き今後とも保護者ニーズの確保ができるよう努めていく必要があります。	子どもたちの放課後の適切な環境作りのために、保護者のニーズを把握し、引き続き、量の拡充や指導員及び運営の質の向上を図っていく必要があります。
6	子育て短期支援事業 （ショートステイ）	引き続き、あらゆる機会をとらえて事業の周知を図ることが求められます。	当該事業は必要な事業であり、引き続き、諸機関との連携を密にして、レスパイト保育も含めた柔軟な対応ができる体制の整備が求められます。
7	地域子育て支援拠点事業 （子育て支援センター事業）	コロナ禍における、母親の育児不安等分析しながら適切なアドバイスができるよう努めました。引き続き、感染症対策に十分配慮しながら親子でゆったりできる環境や相談できる場を提供していきます。	関係機関と協力し、現状やニーズの把握に努めるとともに、必要に応じて他機関との連携を行いながら柔軟な対応ができる体制の構築が求められます。
8	一時預かり事業	保育園児ではない子どもを保育園の中で預かる事業のため、コロナ禍においては園児や保護者に不安な思いをさせたかもしれないが、突発的な預かり中止のお願いにもご理解をいただくことができ、制限をかけながらも事業を行うことができました。	利用調整について、解消できる方法を検討し、必要な方が必要な時に利用できる体制作りが求められます。
9	病児保育事業	利用実績は減りました。コロナ禍の中での病児保育事業ということなので利用者側と受け入れ側の双方が、慎重になっているように感じました。	引き続き、利用の周知に努めるとともに、真に必要とされている方が利用しやすい事業となるよう検討する必要があります。
10	子育て援助活動支援事業の就学児童対象部分 （ファミリーサポートセンター）	援助会員数が、毎年増加しており、今後も、援助会員数を伸ばしていくように努めていきます。	引き続き、支援を必要としている方へ事業周知に努めるとともに、様々なニーズに対応できる体制強化が求められます。
11	利用者支援事業 （子育てコンシェルジュ）	子育て支援センター、子育て支援課、子育て世代包括支援センター、それぞれの実施場所の役割が明確になり特性を活かした事業が実施できました。新型コロナウイルス感染予防のため、街角コンシェルジュ（出張相談会）の開催を断念したり、新型コロナ関係の相談にも多く対応してきました。	子育てを取り巻く環境の変化に合わせ、子どもや保護者が必要なときに子育て支援が受けられるように、引き続き、情報発信及び提供が求められます。
12	乳児家庭全戸訪問事業 （こんには赤ちゃん訪問）	引き続き、全家庭を訪問できるように努めていきます。訪問できなかった場合は、地区の担当保健師が4か月児健診来所時等に面接し情報提供や養育支援方法を確認していきます。	ほとんどの家庭に訪問できており、未実施の状況把握もできています。引き続き、感染予防に努めた事業の継続が求められます。
13	養育支援訪問事業	今後も課内の連絡会等で支援状況を確認し、必要な対象者に対して必要な時期に訪問ができるように努めていきます。	すべての家庭で必要な支援を受けることができるよう、これまで以上に諸機関と連携し、事業の実施体制を構築することが求められます。
14	妊婦健康診査	引き続き、医療機関と連携し、妊産婦・乳児健診の受診勧奨に努めていきます。	ほとんどの妊婦が健診を受診できており、引き続き、現在の実施体制で事業を継続すべきです。
その他全体にかかわる課題		子育て支援の必要な方が利用しやすくなるよう、引き続き、事業の周知が求められます。また、子育てを取り巻く環境の変化に対応できるよう、量の確保及び支援者の質の向上を図りつつ、諸機関との連携を密にして、より一層の事業の充実に努める必要があります。	

評価書の構成・見方

1 事業名	この事業の名称を記載しています。
2 事業担当課	この事業の担当課を記載しています。
3 事業内容	この事業の内容を記載しています。
4 確保方策（計画）	計画では、就学前児童及び小学生の各保護者を対象に平成30年10月～11月に実施したニーズ調査等を踏まえ、この事業の実施目的を達成するために準備すべき数量（対象人数や対象施設数など）を定めています。この「 <u>量の見込み</u> 」を満たすための手段（内容や実施時期など）を「 確保方策 」とし、計画で定めた「確保方策」の内容を記載しています。つまり、「量の見込み」とは「市民からの必要希望数」と、「確保方策」とは「市民ニーズの受入体制」と言い換えることができます。
5 進捗状況（計画値・実績値）及び評価	計画値に対する令和2年度までの実績値を記載した上で、2つの「評価指標」を基に事業担当課が実施した評価結果を○×で分かりやすく記載しています。
（計画値・実績値）	計画値には「量の見込み」と「確保方策」の数値を、実績値には「利用申込数（保護者の希望）」「利用者数（結果）」「過不足（差引）」などの数値を記載しています。実績値は、当該年度内における最大値（事業番号6～14は、当該年度の末日現在の数値）を記載することで、評価指標①の判定の参考になります。また、事業によって「量の見込み」に対する「利用者数」などの割合を「利用率」として記載しています。この「利用率」を高めていくことが求められます。
（評価指標①）	評価指標①では、計画通りに準備が進められたかどうかを判定します。 具体的には、「確保方策」の計画値（B）を満たすことができる体制が確保されていると判定したときは「○」を、確保されていないと判定したときは「×」を記載しています。
（評価指標②）	評価指標②では、計画で定めた「確保方策」自体が現実の保護者のニーズを満たしているかどうかを判定します。 具体的には、「確保方策」の計画値（B）－「利用申込数など」（C）の値がプラスのときは「○」を、マイナスのときは「×」を記載しています。ただし、事業によっては、確保方策（B）と申込児童数（C）の比較対象が異なる場合があります。その場合は、「－」を記載しています。
6 自己評価（事業担当課）	令和2年度事業に対する担当課の自己評価として、（1）評価指標の補足説明、（2）事業評価を行う上で参考となる実績値、（3）事業の課題や今後の考えなど（所見）を記載しています。
7 委員から出された課題	5・6の内容を受け、子ども・子育て会議委員から出された課題を記載しています。
8 この事業全体を通した課題	7の課題の中から、子ども・子育て会議のまとめとして、この事業全体を通した課題を記載しています。

1 事業名	1	1号認定（3歳以上保育の必要なし）	6の続き																																															
2 事業担当課	子育て支援課		(2) 認定児童数の実績値																																															
3 事業内容	1号は、平日日中において、3歳以上の児童で保育の必要がないときに認定するものですが、保護者の就労等で保育の必要があっても、幼稚園の入園を希望する（2号認定教育ニーズ）ときは1号として認定しています。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>最大値 (令和3年3月)</td> <td>令和2年 4月1日時点</td> <td>年度途中の認定</td> </tr> <tr> <td>認定児童数(人)</td> <td>601</td> <td>524</td> <td>77</td> </tr> </table>					最大値 (令和3年3月)	令和2年 4月1日時点	年度途中の認定	認定児童数(人)	601	524	77																																				
	最大値 (令和3年3月)	令和2年 4月1日時点	年度途中の認定																																															
認定児童数(人)	601	524	77																																															
4 確保方策 (計画)	事業2の2号認定の教育ニーズを含め、既存の市内の幼稚園と認定こども園で量の見込みをすべて確保します。		(3) 所見																																															
5 進捗状況(計画・実績値)及び評価 (計画・実績値) 単位:人/年			今後とも計画どおりに体制を確保し、1号認定ニーズの把握に努めていくとともに、幼稚園との情報の共有化を図ります。																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">計画値</td> <td>量の見込み(A) (+168)</td> <td>423 (+168)</td> <td>422 (+167)</td> <td>413 (+163)</td> <td>416 (+164)</td> <td>410 (+163)</td> </tr> <tr> <td>確保方策(B)</td> <td>610</td> <td>610</td> <td>610</td> <td>610</td> <td>610</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実績値</td> <td>申請児童数(C)</td> <td>601</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>認定児童数(D)</td> <td>601</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差引(C)-(D)</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>142.1% (101.7%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※量の見込み(A)の下段()内の数字は2号認定教育ニーズの数字となり、1号認定の全体の見込みとしては上段の保育の必要性のない1号認定の見込みと、下段の2号認定教育ニーズ見込みを合計した数字となります。 ※利用率: 量の見込みと認定児童数との比較【(D) ÷ (A) × 100%】 上段: (D) ÷ (A上段) × 100% 下段: (D) ÷ (A上段+下段) × 100%</p>			区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計画値	量の見込み(A) (+168)	423 (+168)	422 (+167)	413 (+163)	416 (+164)	410 (+163)	確保方策(B)	610	610	610	610	610	実績値	申請児童数(C)	601					認定児童数(D)	601					差引(C)-(D)	0					利用率	142.1% (101.7%)					7 委員から出された課題等 児童発達支援事業との併用について ・幼稚園入園後、児童発達支援事業につながる、幼稚園と児童発達支援事業所(療育施設)を併用するお子さんがいます。どちらも無償化対象のため、利用しやすく、併用の実績がここ数年増加しています。			
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																													
計画値	量の見込み(A) (+168)	423 (+168)	422 (+167)	413 (+163)	416 (+164)	410 (+163)																																												
	確保方策(B)	610	610	610	610	610																																												
実績値	申請児童数(C)	601																																																
	認定児童数(D)	601																																																
	差引(C)-(D)	0																																																
利用率	142.1% (101.7%)																																																	
(評価)			8 この事業全体を通じた課題																																															
6 令和2年度事業に対する自己評価(事業担当課) (1) 評価指標の補足説明 令和2年度は、「蒲郡あけぼの幼稚園」、「蒲郡あさひこ幼稚園」、「木船幼稚園」、「鹿島こども園」の市内4園と市外の幸田町にある「幸田あけぼの第二幼稚園」、西尾市にある西尾中央幼稚園の計6園で対象児童を受け入れ、量の見込み(423+168=591)を上回る体制を確保できました(評価指標①)。 確保方策は申請児童数を上回っています(評価指標②: B-C)。利用率は100%を上回っております。 また、利用定員の範囲内で満3歳児の受け入れを行っている園もあり、実績値にはその児童数も計上しています。令和2年度は、年度末(令和3年3月)に「木船幼稚園」「蒲郡あけぼの幼稚園」「蒲郡あさひこ幼稚園」「鹿島こども園」で、計67名の満3歳児の受け入れ実績がありました。			1号から3号認定全体の認定人数としては横ばいですが、認定こども園での保育認定が増えてきて、1号認定としては全体的に園児が若干減少しています。引き続き、幼稚園との情報の共有化を図る必要があります。																																															

1 事業名	2	2号認定（3歳以上保育の必要あり）	6の続き																																																																	
2 事業担当課	子育て支援課		(2) 認定児童数の実績値																																																																	
3 事業内容	2号は、平日日中において、3歳以上の児童で保育の必要があるときに認定するものです。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>最大値 (令和3年1月)</td> <td>令和2年 4月1日時点</td> <td>年度途中の認定</td> </tr> <tr> <td>認定児童数(人)</td> <td>1,178</td> <td>1,164</td> <td>14</td> </tr> </table>					最大値 (令和3年1月)	令和2年 4月1日時点	年度途中の認定	認定児童数(人)	1,178	1,164	14																																																						
	最大値 (令和3年1月)	令和2年 4月1日時点	年度途中の認定																																																																	
認定児童数(人)	1,178	1,164	14																																																																	
4 確保方策 (計画)	既存の公立保育園と私立保育園・認定こども園で量の見込みをすべて確保します。 教育ニーズは、現状では市内の幼稚園や認定こども園において提供されていますが、特定教育・保育施設においても確保が可能です。		<p>※実績値は最大値である令和3年1月時点の申請児童数(C)と認定児童数(D)としています。</p> <p>(参考) 令和2年4月1日時点</p> <table border="1"> <tr> <td>申請児童数</td> <td>認定児童数</td> <td>差引</td> </tr> <tr> <td>1,164</td> <td>1,164</td> <td>0</td> </tr> </table>				申請児童数	認定児童数	差引	1,164	1,164	0																																																								
申請児童数	認定児童数	差引																																																																		
1,164	1,164	0																																																																		
5 進捗状況(計画・実績値)及び評価	(計画・実績値) 単位: 人/年		<p>(3) 所見</p> <p>園によって申請に差があり、特にみどり保育園では、令和2年4月からの入所申込の際に定員を超える申請があり、令和元年度に引き続き市による利用調整を行いました。 また、支援が必要な児童については、児童やその家族にとって最善の支援が提供できるように努めた結果、令和2年度の入所につながったケースもありました。今後も保健師や保育士、療育機関などの関係機関と引き続き連携を行い、児童やその家族にとって最善の支援を提供できるよう努めます。</p> <p>7 委員から出された課題等</p> <p>利用調整について</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も流動的なニーズが予想され、調整が必要になることも予想されます。個別な対応によって最善の利益が保証されることを願います。 →今後も入所ニーズを適切に把握しながら、入所枠の確保等努めてまいりたいと思います。 <p>入所要件について</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園に通う園児の兄弟が、母子通園型の児童発達支援事業を利用する際は、保育に欠ける要件に該当します。しかし、保育園に通う園児が母子通園型の児童発達支援事業所に通所する場合、通所時間は保育に欠ける要件には該当せず、母子通園に通う時間以外に月64時間の就労が必要になります。母は通所時間以外の保育園に通う2～3日もしくは土日や夜に内職をしており大変である。 →就労時間が64時間を満たすことが望ましいが、64時間を満たすことが困難な場合に通所時間も考慮することについて前向きに検討を重ねてまいります。 																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">計画値</td> <td>量の見込み(A) (-168)</td> <td>1367 (-168)</td> <td>1360 (-167)</td> <td>1331 (-163)</td> <td>1341 (-164)</td> <td>1324 (-163)</td> </tr> <tr> <td>確保方策(B)</td> <td>1,392</td> <td>1,392</td> <td>1,392</td> <td>1,392</td> <td>1,392</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実績値</td> <td>申請児童数(C)</td> <td>1,178</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>認定児童数(D)</td> <td>1,178</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差引(C)-(D)</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>86.2% (98.2%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※量の見込み(A)の下段()内の数字は2号認定教育ニーズの数字となり、実際の2号認定の利用見込みとしては上段の保育の必要性がある者の見込みから、下段の2号認定教育ニーズ見込みを差し引いた数字となります。 ※利用率: 量の見込みと認定児童数との比較【(D)÷(A)×100%】 上段: (D)÷(A上段)×100% 下段: (D)÷(A上段+下段)×100%</p> <p>(評価)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標名</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価指標①</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価指標②</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計画値	量の見込み(A) (-168)	1367 (-168)	1360 (-167)	1331 (-163)	1341 (-164)	1324 (-163)	確保方策(B)	1,392	1,392	1,392	1,392	1,392	実績値	申請児童数(C)	1,178					認定児童数(D)	1,178					差引(C)-(D)	0					利用率	86.2% (98.2%)					評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価指標①	○					評価指標②	○					<p>6 令和2年度事業に対する自己評価(事業担当課)</p> <p>(1) 評価指標の補足説明</p> <p>令和2年度についても、例年と同様、公立保育園16園と私立保育園・認定こども園の3園(みどり保育園・鹿島こども園・木船幼稚園)で対象児童を受け入れ、量の見込み(1,367-168=1,199)を上回る体制を確保できました(評価指標①)。 確保方策は申請児童数を上回っています(評価指標②: B-C)。利用率は98.2%であり、量の見込みと申請児童数がほぼ同じですが、園によっては定員を超える申請があり、入所の園を調整しました。</p> <p>8 この事業全体を通じた課題</p> <p>引き続き、保育ニーズを適切に把握するとともに、関係機関と連携しながら児童やその家庭にとって最善の支援を提供できるよう検討の必要があります。</p>			
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																															
計画値	量の見込み(A) (-168)	1367 (-168)	1360 (-167)	1331 (-163)	1341 (-164)	1324 (-163)																																																														
	確保方策(B)	1,392	1,392	1,392	1,392	1,392																																																														
実績値	申請児童数(C)	1,178																																																																		
	認定児童数(D)	1,178																																																																		
	差引(C)-(D)	0																																																																		
利用率	86.2% (98.2%)																																																																			
評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																															
評価指標①	○																																																																			
評価指標②	○																																																																			

1 事業名	3	3号認定（3歳未満保育の必要あり）
2 事業担当課	子育て支援課	
3 事業内容	3号は、平日日中において、3歳未満の児童で保育の必要があるときに認定するものです。	
4 確保方策（計画）	既存の公立保育園と私立保育園・認定こども園、認可外保育施設で量の見込みをすべて確保する設定としています。	

5 進捗状況（計画・実績値）及び評価

（計画・実績値） 単位：人／年

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	量の見込み（A）	581	609	621	645	666
	確保方策（B）	666	668	673	678	682
実績値	申請児童数（C）	548				
	認定児童数（D）	548				
	差引（C）-（D）	0				
利 用 率	94.3%					

※利用率：量の見込みと認定児童数との比較【（D）÷（A）×100％】

（評 価）

評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
評価指標①	○				
評価指標②	○				

6 令和2年度事業に対する自己評価（事業担当課）

（1）評価指標の補足説明（特定教育・保育施設）

令和2年度についても、例年と同様、公立保育園と私立保育園・認定こども園の3園（みどり保育園・鹿島こども園・木船幼稚園）で581人の児童の受入れを確保する計画（必要保育士数108人）に対して、認定児童数が下回っており、待機児童は生じていません。（評価指標①）。確保方策は申請児童数を上回っています（評価指標②：B-C）。

6の続き

（2）年齢別の内訳と認定児童数の実績値

単位：人／年

区 分	令和2年度			
	0歳児	1・2歳児		
	特定教育・保育施設		認可外（※）	
計画値	量の見込み（A）	63	518	
	確保方策（B）	66 (必要保育士数 22名)	540 (必要保育士数 90名)	60
実績値	申請児童数（C）	53 (必要保育士数 18名)	443 (必要保育士数 74名)	52
	認定児童数（D）	53	443	52
	差引（C）-（D）	0	0	0
利 用 率	84.1%	95.6%		

※認可外保育施設：
光の園、おひさまキッズ、ヤクルト蒲郡センター保育ルーム、
蒲郡東部病院保育所、びっころ、蒲郡市民病院院内保育所、ワイワイルーム

	最大値 (令和3年1月)	令和2年 4月1日時点	年度途中の 認定
認定児童数（人）	548	513	35

※令和2年4月1日時点の申請児童数は、0歳児21人、1・2歳児440人、認可外保育施設52人の合計513人。

（3）所見

認定児童数は、令和3年1月が最も多く、年間を通して待機児童は生じませんでした。待機児童は生じていない状況ですが、0から2歳児の在園児数と入所申請数が毎年増加しているため、引き続き保育士の確保を進め、計画どおりの体制以上を確保する必要があります。

また、認可外保育施設についても連携を取りながら受け入れ態勢の確保に努めていきたいと考えます。

7 委員から出された課題等

低年齢児保育ニーズの増加について

・今後、さらなる需要の増加が予想されると思います。保育士の確保、体制の整備が求められていると思います。新たな認可保育施設の誘致なども視野に入れなければならなくなることも想定されるかと思っています。

→ニーズの増加が予想される低年齢児の受入体制確保のために、保育士の確保に努めてまいりたいと思います。また、低年齢児の受け入れを重点的に行う施設について、民間事業者の活用も含め、整備の検討をいたします。

8 この事業全体を通した課題

今後、低年齢児保育ニーズは、さらなる増加が見込まれることから受け皿確保が引き続き課題です。

併せて、保育が必要な方に保育が提供できるように保育士の確保に努め、民間活用の検討もを行い、保育の質の充実にも配慮する必要があります。

1 事業名	4	時間外保育事業（延長保育事業）
2 事業担当課	子育て支援課	
3 事業内容	早朝や夕方などに保育を必要とする児童を、8時間または11時間を超えて保育を行うことで、保護者の需要に対応する事業です。	
4 確保方策（計画）	引き続き、公立保育園と私立保育園・認定こども園で量の見込みをすべて確保します。	

5 進捗状況（計画値・実績値）及び評価

（計画・実績値）

単位：人／年

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	量の見込み（A）	210	208	203	202	199
	確保方策（B）	210	208	203	202	199
実績値	利用申込数（C）	174				
	利用者数（D）	174				
	差引（C）-（D）	0				
利 用 率		82.9%				

※利用率：量の見込みと利用者数との比較【（D）÷（A）×100％】

（評 価）

評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
評価指標①	○				
評価指標②	○				

6 令和2年度事業に対する自己評価（事業担当課）

（1）評価指標の補足説明

令和2年度についても、公立保育園14園と私立保育園・認定こども園の3園（みどり保育園・鹿島こども園・木船幼稚園）で対象児童を受け入れ、量の見込みを確保できる体制を確保できました（評価指標①）。途中入所、利用変更の児童がいるため、年度末（令和3年3月）の人数を実績値としています。

確保方策自体は利用申込数を上回っています（評価指標②：B-C）。

6 の続き

（2）認定区分ごとの利用者数

令和2年度	保育標準時間認定児童	保育短時間認定児童	計
利用者数（人）	62	112	174

○延長保育の利用可能時間
 保育標準時間認定（7：30～18：30）の場合

7:30 18:30 19:00

通常保育 延長保育

保育短時間認定（8：30～16：30）の場合

7:30 8:30 16:30 19:00

延長保育 通常保育 延長保育

※開所時間の都合より、延長保育が利用できない園や利用時間が制限される園があります

（3）所見

利用率が82.9%にとどまっているのは、保育認定制度（保育標準時間と保育短時間）の導入により、適正な時間の保育を受けられるようになり、各区分を超える時間における保育を希望する保護者が減少したためと考えています。延長保育時間に従事する保育士の確保と子どもがゆったりと過ごせる環境作りができるよう努めます。

7 委員から出された課題等

延長保育の質について

- 今後も質の向上に努めてください。

8 この事業全体を通じた課題

引き続き、保育の質的な部分で、保育士の確保と子どもがゆったりと過ごせる環境作りが必要です。

1 事業名	5	放課後児童健全育成事業（児童クラブ）
2 事業担当課	教育委員会 庶務課	
3 事業内容	放課後、保護者の方が就労などの事由により家庭にいない小学生に、遊びと生活の場を提供し、安全に保護します。 児童福祉法の改正により、平成27年度から高学年についても、児童クラブの対象児童となりました。 児童クラブ開所時間は、放課後から午後7時までです。	
4 確保方策（計画）	引き続き、新規の児童クラブの開設に努め、量の見込みの確保を図ります。	

5 進捗状況（計画・実績値）及び評価

（計画・実績値）

単位：人日／年

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	量の見込み（A）	739	753	791	804	823
	確保方策（B）	750	753	791	804	823
実績値	利用申込数（C）	775				
	利用者数（D）	775				
	差引（C）-（D）	0				
利 用 率		104.9%				

※利用率：量の見込みと利用者数との比較【（D）÷（A）×100％】

（評 価）

評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
評価指標①	○				
評価指標②	×				

6 令和2年度事業に対する自己評価（事業担当課）

（1）評価指標の補足説明

令和2年度は、西部小児童クラブを開設したことにより定員775名の受け入れ体制としたため、評価指標①は○としています。

また、確保方策は利用申込数を下回っているため指標表記としては×（評価指標②：B-C）となりますが、前述のとおり775名まで受け入れ体制を拡充しています。

6の続き

（2）学年別の内訳

		4月1日時点			8月1日時点（夏休み中）		
		低学年	高学年	計	低学年	高学年	計
利用申込数	通期	592	108	700	-	-	-
	長期休暇	143	75	218	-	-	-
	計	735	183	918	-	-	-
利用者数	通期	572	103	675	529	78	607
	長期休暇	-	-	-	124	44	168
	計	572	103	675	653	122	775

（3）所見

利用申込数としては、年度開始前の受付段階が最も多く、夏休みを含めた長期休暇利用申込分を含めると918人となっていますが、実利用者数としては、夏休み期間である8月1日時点が最も多くなっているため、利用申込者数及び利用者数ともに8月1日時点を基準としています。

1年の流れの傾向としては、通期利用として当初申込されても、徐々に利用を取りやめる方や長期休みだけの利用に切り替える方が多くなっており、令和2年度においては8月1日までに新規入所7名に対し、退所64名、長期への切り替え11名で計68名が減っています。

7 委員から出された課題等

退所理由について

- 右ページ6（3）所見、8月1日までに64名の通期利用者が退所したのは、どうしてでしょうか。利用者の側の事情であれば良いのですが、「利用しにくい」ようなところはないでしょうか。もし何かあれば改善していただきたいと思えます。
- 退所理由としては、「1人や兄弟と一緒に留守番できるようになった」や「家庭で見れるようになった」など、利用する必要がなくなったといった利用者側の事情による内容がほとんどです。「利用しにくい」という理由で退所されたものは見受けられません。少数の理由では、感染予防・テレワークによって家で見れるようになったという新型コロナに起因する内容もありました。

質の確保について

- 引き続き、質の向上が潜在的な課題かと思えます。
- 職員全体を集めた集合研修や各クラブ単位でのミーティング、資格取得研修などを通じて、質の向上に努めていきたいと考えています。

8 この事業全体を通じた課題

子どもたちの放課後の適切な環境作りのために、保護者のニーズを把握し、引き続き、量の拡充や指導員及び運営の質の向上を図っていく必要があります。

1 事業名	6	子育て短期支援事業（ ショートステイ ）	6 の続き																																															
2 事業担当課	子育て支援課		(2) 利用内訳																																															
3 事業内容	保護者の病気や就労などの事由により、子どもの養育が一時的に困難となった場合に児童養護施設などで一時的に養育・保護します。 ショートステイの利用期間はおおむね7日以内です。		<table border="1"> <tr> <td>延利用者数 (人)</td> <td>実利用者数 (人)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1</td> </tr> </table>				延利用者数 (人)	実利用者数 (人)	5	1																																								
延利用者数 (人)	実利用者数 (人)																																																	
5	1																																																	
4 確保方策 (計画)	引き続き、市外の児童福祉施設3か所に子育て短期支援事業を委託し、量の見込みをすべて確保します。		(3) 所見																																															
5 進捗状況（計画値・実績値）及び評価			<p>家庭児童相談室、保健師、コンシェルジュ 経由の相談対応を通じて、家族、親類や知り合い等の支援者による子どもの見守り支援が受けられない支援が必要な家庭に対し、養護・保護先を提供し、子どもの心身の安全に寄与するよう努めています。</p>																																															
(計画・実績値)			単位：人日／年																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">計画値</td> <td>量の見込み (A)</td> <td>61</td> <td>61</td> <td>59</td> <td>59</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>確保方策 (B)</td> <td>委託3か所</td> <td>委託3か所</td> <td>委託3か所</td> <td>委託3か所</td> <td>委託3か所</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実績値</td> <td>利用申込数 (C)</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用者数 (D)</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差引 (C) - (D)</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利 用 率</td> <td>8.2%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計画値	量の見込み (A)	61	61	59	59	58	確保方策 (B)	委託3か所	委託3か所	委託3か所	委託3か所	委託3か所	実績値	利用申込数 (C)	5					利用者数 (D)	5					差引 (C) - (D)	0					利 用 率	8.2%					<p>7 委員から出された課題等</p> <p><u>事業の取り組みについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実数は多くないと思いますが、きめ細かな個別対応が求められる事業と察します。諸機関との連携を密にされつつ柔軟な対応ができる体制の整備に、引き続き取り組まれることを期待いたします。 →引き続き、3施設をはじめ諸機関と連携を密にしていきます。 			
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																													
計画値	量の見込み (A)	61	61	59	59	58																																												
	確保方策 (B)	委託3か所	委託3か所	委託3か所	委託3か所	委託3か所																																												
実績値	利用申込数 (C)	5																																																
	利用者数 (D)	5																																																
	差引 (C) - (D)	0																																																
利 用 率	8.2%																																																	
※利用率：量の見込みと利用者数との比較【(D) ÷ (A) × 100%】																																																		
(評価)																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標名</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価指標①</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価指標②</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価指標①	○					評価指標②	—																																		
評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																													
評価指標①	○																																																	
評価指標②	—																																																	
6 令和2年度事業に対する自己評価（事業担当課）			8 この事業全体を通じた課題																																															
(1) 評価指標の補足説明			<p>当該事業は必要な事業であり、引き続き、諸機関との連携を密にして、レスパイト保育も含めた柔軟な対応ができる体制の整備が求められます。</p>																																															
令和2年度のショートステイ利用施設については、例年同様、2歳未満児の受入先として「豊橋ひかり乳児院」、2歳以上児の受入先として児童養護施設「豊橋平安寮」・「豊橋若草育成園」と委託契約できたことから十分な体制は取れているものと捉えています。																																																		

1 事業名	7	地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター事業）	6の続き																																																																	
2 事業担当課	子育て支援課		(2) 相談件数																																																																	
3 事業内容	公共施設や保育園等の地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流・育児相談等の基本事業を実施するものです。		<p style="text-align: right;">単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>379</td> <td>420</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>169</td> <td>184</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>					令和元年度	令和2年度	増減	相談件数	379	420	41	相談人数	169	184	15																																																		
	令和元年度	令和2年度	増減																																																																	
相談件数	379	420	41																																																																	
相談人数	169	184	15																																																																	
4 確保方策（計画）	引き続き、既存の子育て支援センター3か所で、地域子育て支援拠点事業を実施し、量の見込みをすべて確保します。		(3) 所見																																																																	
5 進捗状況（計画・実績値）及び評価			<p>（計画・実績値）</p> <p style="text-align: right;">単位：人回／年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">計画値</td> <td>量の見込み（A）</td> <td>12,455</td> <td>12,286</td> <td>11,904</td> <td>11,705</td> <td>11,485</td> </tr> <tr> <td>確保方策（B）</td> <td>3か所</td> <td>3か所</td> <td>3か所</td> <td>3か所</td> <td>3か所</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実績値</td> <td>利用申込数（C）</td> <td>12,089</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用回数（D）</td> <td>12,089</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差引（C）-（D）</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>97.1%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※利用率：量の見込みと利用回数との比較【（D）÷（A）×100%】</p> <p>（評価）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標名</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価指標①</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価指標②</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計画値	量の見込み（A）	12,455	12,286	11,904	11,705	11,485	確保方策（B）	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	実績値	利用申込数（C）	12,089					利用回数（D）	12,089					差引（C）-（D）	0					利用率	97.1%					評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価指標①	○					評価指標②	—				
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																															
計画値	量の見込み（A）	12,455	12,286	11,904	11,705	11,485																																																														
	確保方策（B）	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所																																																														
実績値	利用申込数（C）	12,089																																																																		
	利用回数（D）	12,089																																																																		
	差引（C）-（D）	0																																																																		
利用率	97.1%																																																																			
評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																															
評価指標①	○																																																																			
評価指標②	—																																																																			
6 令和2年度事業に対する自己評価（事業担当課）			7 委員から出された課題等																																																																	
<p>(1) 評価指標の補足説明</p> <p>令和2年度も、例年同様3か所で実施し、計画値を確保できる体制を確保できました（評価指標①）。</p> <p>評価指標②については、本事業では直接の比較はできないものの、利用申込数から判断して現状の3か所での運営で対応できていると考えます。</p>			<p>体制の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状やニーズの把握を細かに実施し、変容変革にも柔軟に対応できる体制の整備が必要になると考えます。 →関係機関で得た情報や要望、アンケートで得た保護者の思いなどからも、現状やニーズの把握に努めます。また、他機関との連携は保護者の許可等が必要な場合がありますが、必要に応じて連携が取れるよう会議等で体制の確認や整備をしていけるように努めます。 																																																																	
6 令和2年度事業に対する自己評価（事業担当課）			8 この事業全体を通じた課題																																																																	
<p>(1) 評価指標の補足説明</p> <p>令和2年度も、例年同様3か所で実施し、計画値を確保できる体制を確保できました（評価指標①）。</p> <p>評価指標②については、本事業では直接の比較はできないものの、利用申込数から判断して現状の3か所での運営で対応できていると考えます。</p>			<p>関係機関と協力し、現状やニーズの把握に努めるとともに、必要に応じて他機関との連携を行いながら柔軟な対応ができる体制の構築が求められます。</p>																																																																	

1 事業名	8	一時預かり事業
2 事業担当課	子育て支援課	
3 事業内容	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児又は幼児について、主として昼間において、保育園その他の場所で一時的に預かる事業です。一時預かりには、幼稚園在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）と保育園その他の場所での一時預かりがあります。	
4 確保方策（計画）	一時預かり事業を実施している幼稚園（預かり保育）、保育園において量の見込みをすべて確保します。	

5 進捗状況（計画・実績値）及び評価

(計画・実績値) 単位：人日／年

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	量の見込み（A）	11,369	11,318	11,077	11,159	11,014
	確保方策（B）	16,577	16,545	16,395	16,446	16,356
実績値	利用申込数（C）	9,300				
	利用者数（D）	9,130				
	差引（C）-（D）	170				
利 用 率		80.3%				

※利用率：量の見込みと利用者数との比較【（D）÷（A）×100％】

(評 価)

評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
評価指標①	×				
評価指標②	○				

6 令和2年度事業に対する自己評価（事業担当課）

(1) 評価指標の補足説明

令和2年度については、幼稚園の預かり保育（通常の保育時間を超えて自園の児童を預かるもの）と保育園の一時預かり（保育園に入所していない児童を預かるもの）を実施しました。総数では計画値の範囲内でしたが、保育園の一時預かりでは利用調整を行ったので評価指標①は×としています。利用調整は実施園6園のうち、府相保育園と三谷西保育園が突出して多いです。実施園は前年度と同じ園で実施をしています。幼稚園の預かり保育利用者の人数が昨年度に比べて横ばいに対して、保育園の一時預かり保育利用者の人数が昨年と比べて減少したことは、新型コロナウイルスの関係で、利用者に登園自粛をお願いしたり、預かりの受け入れを一時的に停止したことが原因の一つと考えられます。

6 の続き

(2) 一時預かり事業の内訳（幼稚園、保育園）

単位：人日／年

区 分		令和2年度	
		幼稚園 （預かり保育）	保育園 （一時預かり）
計画値	量の見込み（A）	7,077	4,292
	確保方策（B）	7,077	9,500
実績値	利用申込数（C）	6,702	2,598
	利用者数（D）	6,702	2,428
	差引（C）-（D）	0	170
利 用 率		94.7%	56.6%

※ 保育園での一時預かりについて
利用申込みをしたが利用できなかった人数は、延べ170人となり、昨年の延べ263人より減少しました。

(3) 所見

新型コロナウイルス蔓延防止の観点から、蒲郡市の警戒レベル4以上の期間についてリフレッシュが理由での預かりを中止してきました。保育士や保護者のご協力のおかげで、まずは何事もなく無事に1年間事業ができたことを感謝しています。令和2年度の利用申込者は昨年度と比較すると1,200人程少なくなっています。これも新型コロナウイルスの影響と思われませんが、依然として利用希望者がいる中で、ニーズに答えるように受け入れ態勢を充実したいと考えています。

7 委員から出された課題等

利用調整について

- 利用調整の多い園に向けて解消できるように願っています。
→人員の確保をはじめ改善に努めます。

コロナ禍の対応について

- 今後もコロナ禍で、ニーズに対応しにくい状況が察しられます。動向を見定めながらの運営を期待いたします。
- いろいろな理由で利用できる一時預かり事業は、保育園・幼稚園入園前のお子さんを持つ保護者にとっても心強い事業です。入園が低年齢化したり、新型コロナウイルスの関係で利用は少なかったかもしれませんが、子育てにリフレッシュできる時間はとても大切なので、必要な人が必要な時に引き続き利用できるよう継続を希望します。
→令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リフレッシュの理由での利用制限をかけました。3年度につきましても感染症の状況を見て適切な対応に努めてまいりたいと思います。

8 この事業全体を通した課題

利用調整について、解消できる方法を検討し、必要な方が必要な時に利用できる体制作りが求められます。

1 事業名	9	病児保育事業	6 の続き																																											
2 事業担当課	子育て支援課		(2) 利用実績の内訳 (令和2年度)																																											
3 事業内容	地域の児童が発熱等で急に病気になった場合、病院等に付設された専用スペースにおいて、看護師等が一時的に保育する事業(病児対応型)と、病気が治っているものの、病気の回復期にあり集団保育が困難な児童を一時的に保育する事業(病後児対応型)とがあります。蒲郡市では市内の事業者を実施を委託しています(平成28年度から病児対応型に拡大)。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>利用児童の年齢</th> <th>延べ人数(人)</th> <th>病児保育</th> <th>病後児保育</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1歳</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>2歳</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>3歳</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>4歳</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>5歳</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>6歳</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>				利用児童の年齢	延べ人数(人)	病児保育	病後児保育	1歳	0	0	0	2歳	2	2	0	3歳	0	0	0	4歳	0	0	0	5歳	0	0	0	6歳	0	0	0	計	2	2	0								
利用児童の年齢	延べ人数(人)	病児保育	病後児保育																																											
1歳	0	0	0																																											
2歳	2	2	0																																											
3歳	0	0	0																																											
4歳	0	0	0																																											
5歳	0	0	0																																											
6歳	0	0	0																																											
計	2	2	0																																											
4 確保方策(計画)	引き続き、市内の病児・病後児対応施設に病児保育事業を委託し、量の見込みをすべて確保します。		※ 小学生の利用はありませんでした。																																											
5 進捗状況(計画値・実績値)及び評価			(3) 所見																																											
(計画・実績値)			例年に比べて利用者が少ないです。令和2年度は新型コロナウイルスが蔓延した関係で、風邪症候群やインフルエンザなどの流行性感冒に感染する子どもが少なかったのではないかと推測されます。今後においても事業のPRに努め、真に必要とされている方が利用できるように取り組んでまいります。																																											
単位: 人日/年			7 委員から出された課題等																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">計画値</td> <td>量の見込み(A)</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>確保方策(B)</td> <td>委託1か所 定員3人/日</td> <td>委託1か所 定員3人/日</td> <td>委託1か所 定員3人/日</td> <td>委託1か所 定員3人/日</td> <td>委託1か所 定員3人/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実績値</td> <td>利用申込数(C)</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用者数(D)</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差引(C)-(D)</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>11.8%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計画値	量の見込み(A)	17	17	16	16	確保方策(B)	委託1か所 定員3人/日	委託1か所 定員3人/日	委託1か所 定員3人/日	委託1か所 定員3人/日	委託1か所 定員3人/日	実績値	利用申込数(C)	2				利用者数(D)	2				差引(C)-(D)	0				利用率	11.8%					周知について ・「真に必要とされる」対象者の為に、迅速な対応が求められる事業と思います。利用方法などの手続きの周知など、引き続きの細かな取り組みを期待いたします。 →引き続き事業の周知に努めます。			
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																									
計画値	量の見込み(A)	17	17	16	16																																									
	確保方策(B)	委託1か所 定員3人/日	委託1か所 定員3人/日	委託1か所 定員3人/日	委託1か所 定員3人/日	委託1か所 定員3人/日																																								
実績値	利用申込数(C)	2																																												
	利用者数(D)	2																																												
	差引(C)-(D)	0																																												
利用率	11.8%																																													
※利用率: 量の見込みと利用者数との比較【(D) ÷ (A) × 100%】			8 この事業全体を通した課題																																											
(評価)			引き続き、利用の周知に努めるとともに、真に必要とされている方が利用しやすい事業となるよう検討する必要があります。																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標名</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価指標①</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価指標②</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価指標①	○					評価指標②	○					6 令和2年度事業に対する自己評価(事業担当課)																									
評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																									
評価指標①	○																																													
評価指標②	○																																													
(1) 評価指標の補足説明			この事業全体を通した課題																																											
令和2年度についても、例年同様、市内の病児・病後児対応施設「おひさまキッズ」に事業を委託し、計画値を確保できる体制を実現できました(評価指標①)。			引き続き、利用の周知に努めるとともに、真に必要とされている方が利用しやすい事業となるよう検討する必要があります。																																											
令和2年度には児童20人の新規登録がありました。平成22年2月22日の事業開始時点から数えて274人の児童が登録を受けており、そのうち254人が小学6年生以下の利用対象児童です。			引き続き、利用の周知に努めるとともに、真に必要とされている方が利用しやすい事業となるよう検討する必要があります。																																											
確保方策は利用申込数を上回っています(評価指標②: B-C)。			引き続き、利用の周知に努めるとともに、真に必要とされている方が利用しやすい事業となるよう検討する必要があります。																																											

1 事業名	10	子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）の就学児童対象部分																																																																	
2 事業担当課	子育て支援課																																																																		
3 事業内容	児童の預かり等の援助を希望する者（依頼会員）と、援助を行うことを希望する者（援助会員）との相互援助活動に関する連絡・調整を実施する事業です。																																																																		
4 確保方策（計画）	援助会員1人当たり年間25人日の活動により必要な提供体制を確保できる見込みですが、会員の地区に偏りがあるため、今後も援助会員の確保に努め、子育て援助活動支援事業を円滑に提供します。																																																																		
5 進捗状況（計画値・実績値）及び評価	<p>（計画・実績値）</p> <p style="text-align: center;">単位：人日／年</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">計画値</td> <td>量の見込み（A）</td> <td>335 (1,860)</td> <td>329 (1,826)</td> <td>322 (1,791)</td> <td>318 (1,765)</td> <td>312 (1,732)</td> </tr> <tr> <td>確保方策（B）</td> <td>335 (1,860)</td> <td>329 (1,826)</td> <td>322 (1,791)</td> <td>318 (1,765)</td> <td>312 (1,732)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実績値</td> <td>利用申込数（C）</td> <td>552</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用者数（D）</td> <td>450</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差引（C）-（D）</td> <td>102</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利 用 率</td> <td>134.3%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※量の見込み(A)の上段は就学児、下段は全体（就学児と未就学児）の数字となります。 ※利用率：量の見込みと利用者数との比較【（D）÷（A上段）×100%】</p> <p>（評 価）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価指標名</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価指標①</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価指標②</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計画値	量の見込み（A）	335 (1,860)	329 (1,826)	322 (1,791)	318 (1,765)	312 (1,732)	確保方策（B）	335 (1,860)	329 (1,826)	322 (1,791)	318 (1,765)	312 (1,732)	実績値	利用申込数（C）	552					利用者数（D）	450					差引（C）-（D）	102					利 用 率	134.3%					評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価指標①	○					評価指標②	×				
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																														
計画値	量の見込み（A）	335 (1,860)	329 (1,826)	322 (1,791)	318 (1,765)	312 (1,732)																																																													
	確保方策（B）	335 (1,860)	329 (1,826)	322 (1,791)	318 (1,765)	312 (1,732)																																																													
実績値	利用申込数（C）	552																																																																	
	利用者数（D）	450																																																																	
	差引（C）-（D）	102																																																																	
利 用 率	134.3%																																																																		
評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																														
評価指標①	○																																																																		
評価指標②	×																																																																		

6 令和2年度事業に対する自己評価（事業担当課）

（1）評価指標の補足説明

援助会員を93人確保しており（令和2年度末）、計画値を確保できる体制を維持しています（評価指標①）。確保方策は利用申込数を下回っていますが、援助会員の確保により援助活動に支障のない体制が作られています（評価指標②：B-C）。実績値の差引102件（人）については、前年度同様、他に見てもらえる人ができたなど利用者側の都合によりキャンセルとなった件数です。

6の続き	<p>（2）事業全体の実績（5以外の項目）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="3">令和元年度</th> <th colspan="3">令和2年度</th> </tr> <tr> <th>全体</th> <th>就学児</th> <th>未就学児</th> <th>全体</th> <th>就学児</th> <th>未就学児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用申込数（人日／年）</td> <td>2,560</td> <td>543</td> <td>2,017</td> <td>1,641</td> <td>552</td> <td>1,089</td> </tr> <tr> <td>利用者数（人日／年）</td> <td>2,096</td> <td>424</td> <td>1,672</td> <td>1,326</td> <td>450</td> <td>876</td> </tr> <tr> <td>利用者数の比率</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">20%</td> <td style="text-align: center;">80%</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">34%</td> <td style="text-align: center;">66%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※未就学児・就学児の事業全体の利用者数の合計は、令和元年度は2,000人を超えました。令和元年度は特に利用者数は多かったが、令和2年度の利用者数は1,326人と減少しています。ただし、就学児の利用者数は、令和元年度から400人を超え、令和2年度では前年度比26名増の450人となりました。今後は、就学児の利用の対応に力を入れていく必要があります。</p> <p>（3）所見</p> <p>就学児に関する利用状況としては、子どもの習い事等の場合の援助が多くなっています。平日の夕方から夜にかけての利用が主なため、このようなニーズに今後も対応していただける援助会員を確保できるよう、引き続き、周知活動に努めていきたいと考えています。</p>						区 分	令和元年度			令和2年度			全体	就学児	未就学児	全体	就学児	未就学児	利用申込数（人日／年）	2,560	543	2,017	1,641	552	1,089	利用者数（人日／年）	2,096	424	1,672	1,326	450	876	利用者数の比率	/	20%	80%	/	34%	66%
区 分	令和元年度			令和2年度																																				
	全体	就学児	未就学児	全体	就学児	未就学児																																		
利用申込数（人日／年）	2,560	543	2,017	1,641	552	1,089																																		
利用者数（人日／年）	2,096	424	1,672	1,326	450	876																																		
利用者数の比率	/	20%	80%	/	34%	66%																																		
7 委員から出された課題等	<p><u>相互援助活動について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、援助者の確保、双方のマッチング、地域との連携が課題かと思われま。 様々なニーズに対応可能な相互援助活動は、フォーマルなサービスでは対応しきれないニーズに可能な限りお応えいただき、子育てにとっても心強い事業です。→今後も援助会員の確保に努め、様々なニーズに対応できる体制を強化していきたいと思ひます。 																																							
8 この事業全体を通した課題	<p>引き続き、支援を必要としている方へ事業周知に努めるとともに、様々なニーズに対応できる体制強化が求められます。</p>																																							

1 事業名	11	利用者支援事業（子育てコンシェルジュ）
2 事業担当課	子育て支援課	
3 事業内容	子ども又は子どもの保護者が身近な場所において、相談に基づき子ども・子育て支援に係る情報提供、事業の利用について、必要なときに支援が受けられる事業を行います。	
4 確保方策（計画）	引き続き、子育てコンシェルジュを配置し、利用者支援事業を実施します。	

5 進捗状況（計画値・実績値）及び評価

（計画・実績値）

単位：か所／年

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	量の見込み（A）	3	3	3	3	3
	基本型	2	2	2	2	2
	母子保健型	1	1	1	1	1
	確保方策（B）	3	3	3	3	3
	基本型	2	2	2	2	2
母子保健型	1	1	1	1	1	
実績値	実施施設（C）	3				
	基本型	2				
	母子保健型	1				

（評 価）

評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
評価指標①	○				
評価指標②	○				

6 令和2年度事業に対する自己評価（事業担当課）

（1）評価指標の補足説明

子育て世代包括支援センター・中央子育て支援センター・子育て支援課の3か所に1人ずつ子育てコンシェルジュ（利用者支援事業従事者）を配置し、量の見込みを確保することができました。（評価指標①）

令和3年度からは中央子育て支援センターの子育てコンシェルジュを西部子育て支援センターに配置換えし、蒲郡市西側地区の利用者ニーズに対応してまいります。

評価指標②については、実施施設数の評価に加え、今後とも利用者のニーズを把握しながら検証してまいります。

6の続き

（2）相談等の利用実績

	相談件数 (件)	地域別				相談人数 (人)
		西部	中央	子育て支援課	包括	
平成28年度	1,604	172	195	1,237		1,224
平成29年度	2,934	339	313	2,282		2,045
平成30年度	2,826	401	300	2,125		2,128
令和元年度	2,831		593	2,042	196	2,197
令和2年度	2,994		623	2,076	295	2,354

（3）所見

子育て世代包括支援センター・中央子育て支援センター・子育て支援課、それぞれの子育てコンシェルジュの求められている役割が明確になってきています。配置場所における利用者からの相談や支援内容は、異なっていて当然であると考えますが、実施3か所や各関係機関等と連携して支援する必要があるケースについては取りこぼしなく対応していきたいと考えています。

子育てコンシェルジュの周知が進み利用者にとってより身近な存在になってきていることやいろいろな関係機関との連携がスムーズになったことで、案件に対しスピード感をもって対応・解決できるようになってきました。

子育てを取り巻く環境が少しづつ変化しているため、今後も利用者にとってタイムリーな子育て情報の発信・提供をしていきたいと考えています。

7 委員から出された課題等

コロナ禍の対応について

・独自な取り組みに敬意を表します。コロナ禍ゆえの新様式の導入などを検討し、さらなる活性化に尽力ください。

→コロナ禍ゆえの取り組みとして、家で過ごすことが多くなったため、蒲郡市公式ホームページ内「子育てコンシェルジュの部屋」に、《親子で作れるクッキングレシピ》8編及び《簡単な手作りおもちゃ》8編《季節の行事》9編を掲載し「おうち時間」を楽しく過ごしていただけるヒントに役立てていただけるようにしました。また、子育て世代包括支援センター「うみのこ」では、毎週月曜日と木曜日の午前10時30分から45分まで、Zoom参加型「うみのごみんのであそぼう」をオンライン配信し、子どもと一緒に楽しむ遊びやちょっとした子育てのコツなどを発信しています。その他として、従来からお受けしているメール相談に加え、Zoomによるオンライン相談も始めました。

8 この事業全体を通じた課題

子育てを取り巻く環境の変化に合わせ、子どもや保護者が必要なときに子育て支援が受けられるように、引き続き、情報発信及び提供が求められます。

1 事業名	12	乳児家庭全戸訪問事業（こんには赤ちゃん訪問）	6の続き																																			
2 事業担当課	健康推進課		(2) 訪問実施率と訪問未実施者への対応（令和2年度）																																			
3 事業内容	生後4か月までの乳児のいる家庭に訪問し、育児相談、子育て支援に関する情報提供や養育環境の把握を行う事業です。蒲郡市が直営で実施しています。子育てに関する不安の解消を図るとともに虐待の早期発見や予防を図ります。		<table border="1"> <tr> <td>訪問実施率</td> <td>96.1%</td> </tr> <tr> <td>未実施の理由</td> <td>未訪問者22名のうち、次年度4月に入ってから訪問済及び予定者8名、里帰り先へ訪問依頼4名、コロナのため訪問拒否4名、入院中2名等</td> </tr> <tr> <td>未実施者への対応</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・電話相談 ・4か月児健診での面接 ・里帰り先の市町村の保健師への訪問依頼 ・外国人の方で通訳が必要な方へは子育て支援課に協力を依頼し、通訳の方と同行訪問し相談実施 </td> </tr> </table>				訪問実施率	96.1%	未実施の理由	未訪問者22名のうち、次年度4月に入ってから訪問済及び予定者8名、里帰り先へ訪問依頼4名、コロナのため訪問拒否4名、入院中2名等	未実施者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談 ・4か月児健診での面接 ・里帰り先の市町村の保健師への訪問依頼 ・外国人の方で通訳が必要な方へは子育て支援課に協力を依頼し、通訳の方と同行訪問し相談実施 																										
訪問実施率	96.1%																																					
未実施の理由	未訪問者22名のうち、次年度4月に入ってから訪問済及び予定者8名、里帰り先へ訪問依頼4名、コロナのため訪問拒否4名、入院中2名等																																					
未実施者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談 ・4か月児健診での面接 ・里帰り先の市町村の保健師への訪問依頼 ・外国人の方で通訳が必要な方へは子育て支援課に協力を依頼し、通訳の方と同行訪問し相談実施 																																					
4 確保方策（計画）	引き続き、実施体制を整え、量の見込みをすべて確保します。		(3) 所見 訪問未実施22名の状況把握はできており、必要に応じ里帰り先依頼や面接等行えています。																																			
5 進捗状況（計画値・実績値）及び評価			7 委員から出された課題等																																			
(計画・実績値)			<p>単位：人／年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">計画値</td> <td>量の見込み(A)</td> <td>529</td> <td>520</td> <td>511</td> <td>502</td> <td>491</td> </tr> <tr> <td>確保方策(B)</td> <td>赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名</td> <td>赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名</td> <td>赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名</td> <td>赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名</td> <td>赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実績値</td> <td>実施体制(C)</td> <td>赤ちゃん訪問員21名 助産師2名 保健師11名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>訪問件数(D)</td> <td>467</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計画値	量の見込み(A)	529	520	511	502	491	確保方策(B)	赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名	赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名	赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名	赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名	赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名	実績値	実施体制(C)	赤ちゃん訪問員21名 助産師2名 保健師11名					訪問件数(D)	467				
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																	
計画値	量の見込み(A)	529	520	511	502	491																																
	確保方策(B)	赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名	赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名	赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名	赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名	赤ちゃん訪問員27名 助産師2名 保健師12名																																
実績値	実施体制(C)	赤ちゃん訪問員21名 助産師2名 保健師11名																																				
	訪問件数(D)	467																																				
(評価)			<p>コロナ禍の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ゆえの新様式の導入などを検討し、さらなる活性化を期待いたします。 																																			
6 令和2年度事業に対する自己評価（事業担当課）			8 この事業全体を通じた課題																																			
(1) 評価指標の補足説明			ほとんどの家庭に訪問できており、未実施の状況把握もできています。引き続き、感染予防に努めた事業の継続が求められます。																																			
令和2年度は、出生数の減少及び新型コロナウイルス感染症の流行に伴い訪問を断られるケースもあり、量の見込みを下回る実績でしたが、必要者には訪問できる体制を確保し赤ちゃん訪問を実施することができました。（評価指標①）。																																						
評価指標②について、本事業では直接の比較はできませんが、赤ちゃん訪問の実施は、現状の訪問者の人数で対応できています。しかし、訪問員が減少傾向にあり、地区により偏りがあるため、今後も地区を超えた訪問員の活用が必要と考えます。																																						

1 事業名	13	養育支援訪問事業	6の続き																																		
2 事業担当課	健康推進課		(2) 妊娠期及び産後間もなくといった早期からの支援（令和2年度）																																		
3 事業内容	養育支援が特に必要な家庭を訪問し、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるための相談支援、育児・家事援助を行う事業です。蒲郡市が直営で実施しています。家庭での適切な養育の実施を確保することで乳幼児の健やかな成長や虐待の予防を図ります。		<table border="1"> <tr> <td>19世帯</td> <td>実22人</td> <td>対応：関係機関と連携して支援</td> </tr> </table>				19世帯	実22人	対応：関係機関と連携して支援																												
19世帯	実22人	対応：関係機関と連携して支援																																			
4 確保方策（計画）	引き続き、実施体制を整え、量の見込みをすべて確保します。		(3) 所見 保健師を中心として、地域の子育て関係機関と連携しながら支援しています。必要な方に支援ができているかを検討していきます。																																		
5 進捗状況（計画値・実績値）及び評価			7 委員から出された課題等																																		
(計画・実績値) 単位：人／年 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">計画値</td> <td>量の見込み(A)</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>確保方策(B)</td> <td>助産師2名 看護師1名 保健師12名</td> <td>助産師2名 看護師1名 保健師12名</td> <td>助産師2名 看護師1名 保健師12名</td> <td>助産師2名 看護師1名 保健師12名</td> <td>助産師2名 看護師1名 保健師12名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実績値</td> <td>実施体制(C)</td> <td>助産師2名 看護師1名 保育士2名 保健師12名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>訪問件数(D)</td> <td>実37人 31世帯 延べ113人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計画値	量の見込み(A)	30	30	30	30	確保方策(B)	助産師2名 看護師1名 保健師12名	助産師2名 看護師1名 保健師12名	助産師2名 看護師1名 保健師12名	助産師2名 看護師1名 保健師12名	助産師2名 看護師1名 保健師12名	実績値	実施体制(C)	助産師2名 看護師1名 保育士2名 保健師12名					訪問件数(D)	実37人 31世帯 延べ113人					養育支援について ・本当に必要な方になかなか行き着かない（本当に必要な人からの発信がない）という潜在的な課題を抱える事業と推察いたします。諸機関との連携を含めてさらなる活性化に期待いたします。			
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																
計画値	量の見込み(A)	30	30	30	30																																
	確保方策(B)	助産師2名 看護師1名 保健師12名	助産師2名 看護師1名 保健師12名	助産師2名 看護師1名 保健師12名	助産師2名 看護師1名 保健師12名	助産師2名 看護師1名 保健師12名																															
実績値	実施体制(C)	助産師2名 看護師1名 保育士2名 保健師12名																																			
	訪問件数(D)	実37人 31世帯 延べ113人																																			
(評価) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標名</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価指標①</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価指標②</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価指標①	○					評価指標②	—					8 この事業全体を通した課題 すべての家庭に必要な支援を受けることができるよう、これまで以上に諸機関と連携し、事業の実施体制を構築することが求められます。																
評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																
評価指標①	○																																				
評価指標②	—																																				
6 令和2年度事業に対する自己評価（事業担当課）																																					
(1) 評価指標の補足説明 令和2年度は、訪問員の養成を行い新たに看護師1名、保育士2名を確保し実施体制を整備し量の見込みを上回る訪問を実施することができました（評価指標①）。 評価指標②について、本事業では直接の比較はできませんが、専門職種が増え、より家庭の状況に合わせた継続支援が実施できるようになったと考えます。																																					

1 事業名	14	妊婦健康診査	6 の続き																																			
2 事業担当課	健康推進課		(2) 母子健康手帳発行数 (令和2年度末)																																			
3 事業内容	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対して健康診査を実施する事業です。		<table border="1"> <tr> <td>母子健康手帳発行数</td> <td>(再掲) 妊婦健診の1回目受診件数</td> </tr> <tr> <td>510件</td> <td>487件</td> </tr> </table>		母子健康手帳発行数	(再掲) 妊婦健診の1回目受診件数	510件	487件																														
母子健康手帳発行数	(再掲) 妊婦健診の1回目受診件数																																					
510件	487件																																					
4 確保方策 (計画)	引き続き、医療機関に委託し、量の見込みをすべて確保します。		(3) 所見																																			
5 進捗状況 (計画値・実績値) 及び評価			母子健康手帳交付から妊婦健診・乳幼児健診とカルテで一元的に管理しています。																																			
(計画・実績値)			単位: 人/年																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">計画値</td> <td>量の見込み (A)</td> <td>529</td> <td>520</td> <td>511</td> <td>502</td> <td>491</td> </tr> <tr> <td>確保方策 (B)</td> <td>医療機関委託</td> <td>医療機関委託</td> <td>医療機関委託</td> <td>医療機関委託</td> <td>医療機関委託</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実績値</td> <td>実施体制 (C)</td> <td>医療機関委託</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受診件数 (D)</td> <td>487</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計画値	量の見込み (A)	529	520	511	502	491	確保方策 (B)	医療機関委託	医療機関委託	医療機関委託	医療機関委託	医療機関委託	実績値	実施体制 (C)	医療機関委託					受診件数 (D)	487								
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																	
計画値	量の見込み (A)	529	520	511	502	491																																
	確保方策 (B)	医療機関委託	医療機関委託	医療機関委託	医療機関委託	医療機関委託																																
実績値	実施体制 (C)	医療機関委託																																				
	受診件数 (D)	487																																				
(評価)																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標名</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価指標①</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価指標②</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価指標①	○					評価指標②	—					7 委員から出された課題等																	
評価指標名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																	
評価指標①	○																																					
評価指標②	—																																					
			<p>事業の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、諸機関との連携の充実に期待いたします。 																																			
6 令和2年度事業に対する自己評価 (事業担当課)			8 この事業全体を通じた課題																																			
(1) 評価指標の補足説明			ほとんどの妊婦が健診を受診できており、引き続き、現在の実施体制で事業を継続すべきです。																																			
<p>令和2年度についても、例年同様、委託により量の見込みを確保できる体制を計画どおり確保できました (評価指標①)。引き続き医療機関へ委託することで、妊娠中の健康の保持・増進に努めていきます。</p> <p>評価指標②について、本事業では直接の比較はできませんが、母子健康手帳 (妊婦健康診査受診票) 交付後に転出入があること、多胎妊婦が5人いることを等を考慮すると、ほとんどの妊婦が健診を受診していることが推測されます。</p>																																						

【参考】令和元年度事業の点検・評価（令和2年10月実施）に対する改善内容

事業・項目名		今後の課題（子ども・子育て会議）	改善内容（事業担当課）
1	1号認定 （3歳以上保育の必要なし）	木船幼稚園が認定こども園に移行し、保育園の認定を受けることが可能となり、全体的に園児は減少していますが、幼児教育・保育の無償化により、入園を希望する園児は増加しています。これまで以上に幼稚園との情報の共有化を図る必要があります。	引き続き幼稚園との情報の共有化に努めます。
2	2号認定 （3歳以上保育の必要あり）	保育ニーズの把握に努め、引き続き関係機関と連携しながら児童やその家族にとって最善の支援を提供できるよう検討する必要があります。その中の1つとして入所要件の緩和を検討する必要があります。	支援が必要な児童については、児童やその家族にとって最善の支援を提供ができるように、保健師や保育士、療育機関などの関係機関との連携に努めていきます。
3	3号認定 （3歳未満保育の必要あり）	低年齢児の保育ニーズ増加による受け皿確保が引き続き課題です。併せて保育の質の充実、保育が必要な方に保育が提供できるよう保育士の確保にも十分配慮する必要があります。	低年齢児保育の受け皿確保のため、就職支援プログラムの実施等、引き続き保育士の確保に努めます。
4	時間外保育事業 （延長保育事業）	引き続き、保護者からの延長保育ニーズに対応できるよう保育士の確保と子どもがゆったりと過ごせる環境作りが必要です。	延長保育時間に従事する保育士の確保と保育の質的な部分で、子どもがゆったりと過ごせる環境作りができるよう引き続き努めていきます。
5	放課後児童健全育成事業 （児童クラブ）	子どもたちの放課後の適切な環境作りのために、保護者のニーズを把握し、量の拡充及び質の確保により一層取り組む必要があります。	令和2年度は新たに蒲郡西部小内に開設し、定員を750名から775名としました。量の確保はもちろん、これまで児童館に移動し利用していたものを学内で実施できるようにしています。
6	子育て短期支援事業 （ショートステイ）	必要とする方が活用できるように、今後もあらゆる機会をとらえて事業の周知を図ることが求められます。	児童相談所・保健師・コンシェルジュ経由の相談対応など、引き続き、真に支援が必要な家庭が速やかに利用できるよう努めます。
7	地域子育て支援拠点事業 （子育て支援センター事業）	保護者支援のため、利用しやすい環境作りに取り組むとともに、虐待防止の観点からも、引き続き潜在的利用者の利用促進を図る取り組みが求められます。	センターや活動内容のチラシ配布やHPの充実を図りながら市民に広く周知していくと共に、関係機関との連携を密にしながら潜在利用者を探るなど、利用促進に努めます。
8	一時預かり事業	より良い子育てに繋げていくという観点から、引き続き、保護者に積極的に周知するとともに、いろいろなニーズに対応できるよう検討する必要があります。	新型コロナウイルス蔓延防止の観点から人数制限はありましたが概ね例年通り事業を実施できました。コロナ禍でも十分に注意をして市民のニーズに対応していきます。
9	病児保育事業	利用の周知に努めるとともに、必要な方が利用しやすい事業となるよう検討する必要があります。	新型コロナウイルスの関係で事業の存在をアピールできる機会が失われ悔やまれます。周知方法の代替策を考えます。
10	子育て援助活動支援事業 （ファミリーサポートセンター事業）	引き続き、支援を必要としている方へ事業周知に努めるとともに、依頼会員のニーズに応えられる援助会員の確保が求められます。	援助会員の数が令和元年度末には85人でしたが、令和2年度末には93人になり、引き続き援助会員の確保に努めます。
11	利用者支援事業 （子育てコンシェルジュ）	引き続き、子どもや保護者が身近な場所において、必要なときに子育て支援が受けられるよう情報発信及び提供が求められます。	子どもや保護者が必要なときに必要な支援が受けられるよう引き続き務めます。また、更なる情報発信及び提供の継続・充実に努めます。
12	乳児家庭全戸訪問事業 （こんにちは赤ちゃん訪問）	ほとんどの家庭に訪問できており、未実施の状況把握もできています。引き続き、早期の訪問と支援が求められます。	引き続き、全家庭を訪問できるように努めていきます。訪問できなかった場合は、地区の担当保健師が4か月児健診来所時に面接し情報提供や子育て状況を確認していきます。
13	養育支援訪問事業	頻回な支援が必要な家庭が増えていきます。これまで以上に関係機関と連携して、すべての家庭に必要な支援を受けることができるよう実施体制を構築することが求められます。	支援が必要な家庭が増えており、これまで以上に各機関が連携し、協力する体制を構築していく必要があります。
14	妊婦健康診査	ほとんどの妊婦が健診を受診できており、引き続き現在の実施体制で健診を実施し、妊婦の健康の保持及び増進を図ることが求められます。	ほとんどの妊婦が健診を受診できており、引き続き現在の実施体制で健診を実施し、妊婦の健康の保持及び増進を図ることが求められます。
その他全体にかかわる課題		ニーズの把握に努めつつ、子育て支援の必要な方が利用しやすくなるよう、より一層の事業の周知が求められます。また、支援者の質の向上を図りつつ、関係機関との連携を密にして事業の充実に努める必要があります。	新型コロナウイルス感染防止対策を行いつつ、事業の実施及びほとんどの事業において量の確保ができました。引き続き、感染防止対策を取りながら、関係機関との連携を密にして事業の充実に努めます。